

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 20 年 1 月 17 日 (2008.1.17)

【公表番号】特表 2007-513654 (P2007-513654A)

【公表日】平成 19 年 5 月 31 日 (2007.5.31)

【年通号数】公開・登録公報 2007-020

【出願番号】特願 2006-542632 (P2006-542632)

【国際特許分類】

A 6 1 L 2/18 (2006.01)

G 0 2 C 13/00 (2006.01)

B 6 5 D 65/02 (2006.01)

B 6 5 D 81/24 (2006.01)

B 6 5 D 85/38 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 2/18

G 0 2 C 13/00

B 6 5 D 65/02 E

B 6 5 D 81/24 D

B 6 5 D 85/38 B

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 11 月 22 日 (2007.11.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一種又は二種以上の界面活性剤及びポリ（ヘキサメチレンピグアニド）を含有するレンズ手入れ用液剤を、ポリエチレンテレフタレート製の容器で包装することを含んでなる、レンズ手入れ用液剤の殺生物的安定性を強化する方法。

【請求項 2】

一種又は二種以上の界面活性剤及びポリ（ヘキサメチレンピグアニド）を含有するレンズ手入れ用液剤を、ポリエチレンテレフタレート製の容器で包装することを含んでなる、レンズ手入れ用液剤の有効期限を延長する方法。

【請求項 3】

液剤が、緩衝剤、キレート化剤、浸透圧モル濃度調節剤及び HLB 値が 18 以上である界面活性剤からなる群から選択される少なくとも一種の成分をさらに含有する、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

液剤が、前記ポリ（ヘキサメチレンピグアニド）を 0.0001～0.5 質量% 含有する、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 5】

液剤が、HLB 値が 18 以上のポロキサマー及びポロキサミンの界面活性剤からなる群から選択される少なくとも一種の成分を含有する、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 6】

一種又は二種以上の界面活性剤及びポリ（ヘキサメチレンピグアニド）を含有するレンズ手入れ用液剤の殺生物的安定性を強化するための、ポリエチレンテレフタレート製の容

器の使用。

【請求項 7】

液剤が、緩衝剤、キレート化剤、浸透圧モル濃度調節剤及び H L B 値が 1.8 以上である界面活性剤からなる群から選択される少なくとも一種の成分をさらに含有する、請求項 6 に記載の使用。

【請求項 8】

液剤がホウ酸塩緩衝剤を含む、請求項 6 又は 7 に記載の使用。

【請求項 9】

液剤が、H L B 値が 1.8 以上のポロキサマー及びポロキサミンの界面活性剤からなる群から選択される少なくとも一種の成分を含有する、請求項 6 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の使用。